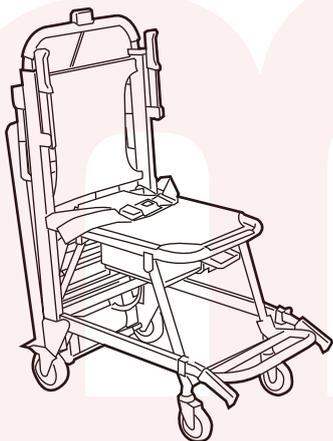


# 取扱説明書

型番:HUMANASYL

Version1.00.y



保証期間：購入日より12ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

## 取扱説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出す時は、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

### ● 安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。  
※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。

●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

### ◆本体の取り扱いについて



**危険** 下記の内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険がきわめて大きい内容を示しています。



- 前方が見えないほど身長が低い人や子供は本製品を押さない。(転落・事故の原因)
- 本製品に荷物を掛けたり、ぶら下がったりしない。(転倒・事故のおそれ)
- 改造や分解をしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。(事故のおそれ)
- 使用用途以外で使用しない。(転倒・転落・事故の原因)
- 飲酒した方、眠気のある方、体力の衰えている方、操作方法が理解出来ない方は使用しない。(転倒・事故の原因)
- 凍結した場所や滑りやすい場所、雪、雨の中で使用、放置しない。(転倒・転落・事故・破損の原因)
- 最大角度を超えた階段で使用しない。(転倒・転落・事故の原因)
- 直線階段専用です。螺旋階段など直進以外で使用されると昇降途中でキャタビラが外れるおそれがあります。(転落、転倒、事故の原因)
- 耐荷重200kg以上耐えられる階段で使用する。(階段が壊れて、転倒、転落、事故の原因)



- 階段昇降の際は必ず2名で使用し、操作する人以外のもう1人は、補助ハンドルバーを持って下から支える。(ゴム製キャタビラがグリップを失う場合があり、補助がない場合事故のおそれ)
- 搭乗者がハンドルアームを握っているか、腕を外側に降ろしていないか必ず確認する。(腕がキャタビラに巻き込まれるなどの事故の原因)
- 本製品に乗り降りする際や一時停止する際は、タイヤにロックをかけ、操作する人が本製品をしっかりとおさえ、まわりの安全を確認する。(事故のおそれ)
- 本製品に座ったまま強い前傾姿勢をとらない。(転倒事故のおそれ)



**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 子供や操作に不慣れな人だけで使わせない。幼児の手の届くところで使用、保管しない。(事故の原因)
- 人の出入り口やドア前に放置しない。(転倒・転落のおそれ)
- 傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所に放置しない、使用しない。(転倒・転落のおそれ)
- 急発進、急停車、急な方向転換をしない。(けがのおそれ)
- 本体のすき間などにピンや針金など金属物や異物を入れない。(感電・けがの原因)
- 直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所、水のかかる場所、高温・多湿になる場所で保管しない。(変形・変色・発煙・発火の原因)
- 本製品を水につけたり、水に濡らしたりしない。(ショート・感電・故障の原因)



- 本製品の乗り降りの際は、タイヤにロックをかけ、必ず水平で平坦な場所で行う。(転倒のおそれ)
- 使用前に必ず各部に異常がないか点検する。(事故のおそれ)
- 使用時には周囲に人がいないことを確認する。(事故のおそれ)
- 操作中に異常な音や振動が発生した場合はすぐに使用を中止する。(事故・けがのおそれ)
- 使用しないときは、タイヤにロックをかけ、平坦で安定した場所で保管する。(破損の原因)
- 本製品から離れるときは、電源を切ってタイヤをロックする。(事故・けがの原因)



**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 最大積載量以上の人を載せない。(転倒・転落の原因)
- 一人以上載せない。(転倒・転落・事故の原因)
- すき間に手や指を入れない。(けがのおそれ)
- 走行中身体を乗り出さない。(転倒・転落・けがの原因)
- 専用部品以外は使用しない。(故障・けがの原因)
- 倒れたり、ぶついたり、落としたり、強い衝撃を与えない。(けが・破損の原因)
- 高温や湯気、乾燥や振動の著しい場所で使用、保管しない。(変形・変色の原因)
- お手入れの際は有機溶剤（ベンジン、シンナー、石油等）、薬品類（漂白剤、消毒液等）、研磨剤は使用しない。(変形変色故障の原因)



- 安定した走行を心がける。(けがの原因)

## ◆電源プラグ・電源コードについて

**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



- めれた手で、電源プラグ、充電プラグの抜き差しをしない。(感電のおそれ)
- 交流 100V 以外で使用しない。(日本国内専用) (発火するおそれ)
- 乳幼児に電源プラグ、充電プラグをなめさせない。(感電・けがの原因)
- 電源プラグ、充電プラグにピンなどの金属片、ゴミなどを付着させない。(感電・ショート発火の原因)
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用しないでください。また重い物を載せて使用しないでください。(電源コードが破損し、火災・感電の原因)
- 電源コードや電源プラグ、充電プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使わない。(感電、発火の原因)



- 電源プラグ、充電プラグは根元まで確実に差し込む。(火災・感電の原因)
- 電源プラグ、充電プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほりはふき取る。(感電・ショート・発火の原因)
- 電源プラグ、充電プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く。(感電・発火・故障の原因)
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう。(感電・発火・故障の原因)
- 電源コード・電源プラグ、充電プラグを水につけたり、水をかけたりしない。(ショート・感電の原因)

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 使用後電源コードを本体、充電器に巻き付けない。(電源コードが破損し、火災・感電の原因)



- 充電時以外は、電源プラグをコンセントから外す。(感電・漏電・火災の原因)
- 電源コードはすべてほどいて使用する。(感電・ショートの原因)

## ◆バッテリーについて

### 充電は使用直前か前日くらいに

- バッテリーは、充電して保存しても自然に放電しますので、使用する直前または前日頃に充電してください。充電するときは、周囲の温度が 10℃～ 30℃(人間が快適と感じる温度) の範囲で充電してください。
  - 温度が低くなるほど充電しにくくなり、バッテリーを消耗させます。また、高温では十分な充電ができません。
  - 充電中や使用中、バッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
  - 保管するときは約 50% 充電状態で保管してください。バッテリーは自然放電しますので使い切った状態で保管すると使用できなくなる恐れがあります。保管の際はバッテリーインジケーターが 3 個点灯の状態での保管してください。
  - 涼しい場所で保存してください。
- 高温条件、過放電(電池を使い切った状態)、過充電(満充電でも充電器につないだままの状態)状態での保存はしないで下さい。
- ・ 3ヶ月に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。
  - ・ 10℃～ 35℃の乾燥した場所で保管してください。
  - ・ 充電可能回数は約 300 回です。

### ● 電池のリサイクルについて



Li-ion

本製品のバッテリーは、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。

## 使用上のお願い

長期間使わないで保管する場合は本体の電源コードを外して保管してください。3ヶ月以上使用されない場合はバッテリーが放電してしまう可能性があります。定期的に充電することをお勧めします。バッテリーの放電により再充電が出来なくなる恐れがあります。バッテリーの放電による故障に関しては保証の対象外となります。

※電動台車は屋内使用を想定しておりますので屋外で使用しないでください。防水性が無くキャタピラ、タイヤの破損につながります。キャタピラ、タイヤが破損した際には無償保証期間中でも有償となります。

※セット内容に記載している以外の物は付属しません。

※階段を昇降する電動の走行キャタピラが台車に付いています。平地は通常の台車と同じ手動による車輪移動になります。

※ご使用になる階段の強度を確認してください。

※操作方法を熟知したうえでご利用ください。

※異常を感じたらただちにご使用をやめ、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。

※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。

※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

## ● ご使用前に点検してください

本製品をお使いになる前に点検を行い、異常がないことを確認してください。

### ○目視点検の項目

- ◆フレームにねじれ、曲がりやへこみ、割れ、欠けがないか確認してください。ある場合は絶対に使用しないでください。
- ◆接合部分に割れや著しい腐食がないか確認してください。ある場合は絶対に使用しないでください。
- ◆走行中の振動で、キャタピラ付近のフレームのネジが緩んでくることがあります。ネジなどのゆるみがないか確認してください。ある場合はドライバー等で締めなおしてください。

### ○触って点検する項目

- ◆各部を触って、がたつきがないか確認してください。がたつきがある場合は絶対に使用しないでください。

ネジのゆるみを  
チェック



### ◆テンションの調整について

キャタピラのテンションを確認します。本体を立て掛けた状態にしてください。キャタピラ側面上部にある赤の金属パーツのネジでテンションを調整できます。4mm六角レンチを使用してください。

キャタピラの間を持ち上げた時に、5mm くらいの間隔ができる状態が適切なテンションです。締めすぎるとモーターに負荷が掛かり、緩すぎるとキャタピラが外れてしまうので注意して下さい。

**※キャタピラが外れてしまった場合は無理に戻そうとしないで下さい。  
キャタピラの取付は分解が必要です。修理依頼をしてください。**



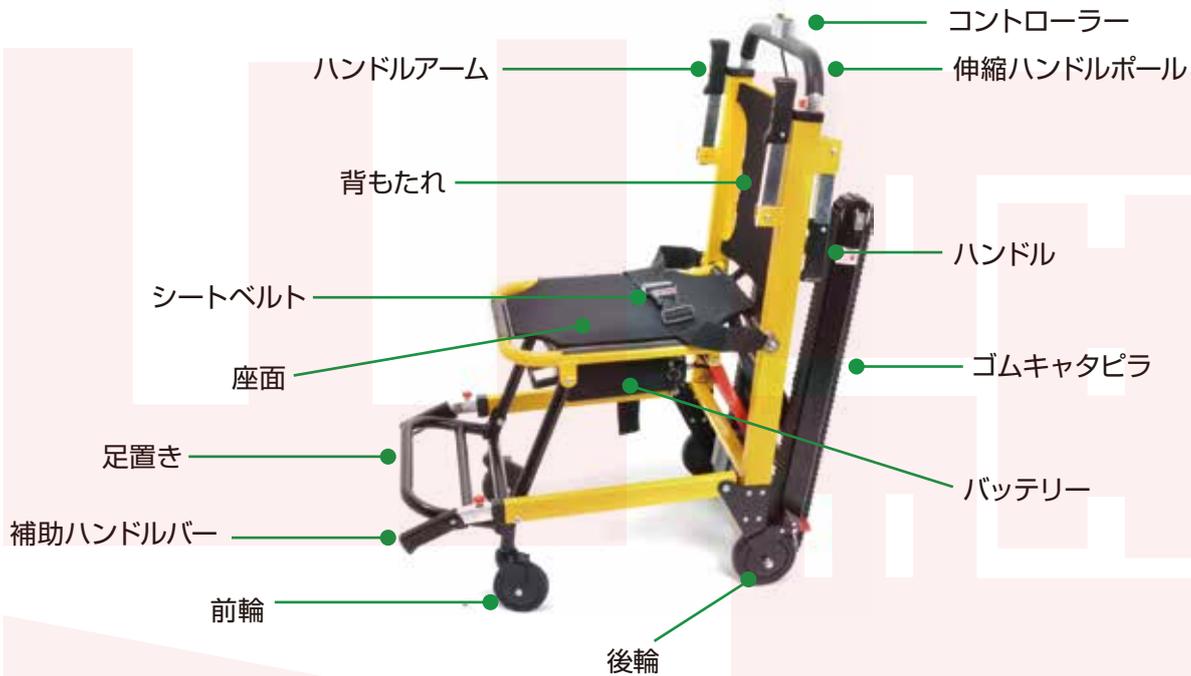
**人を乗せて使用する前に、何も乗せない状態で階段での操作を確認・練習してください。人を乗せて階段昇降を行う際には、必ず操作を熟知した状態で使用してください。**

## 内容品



- ① 本体 ② バッテリー（開封時設置済み） ③ 鍵 ×2（開封時バッテリーに設置済み）  
④ 頭固定ベルト ⑤ 充電器、電源ケーブル（A+B）

## 各部名称

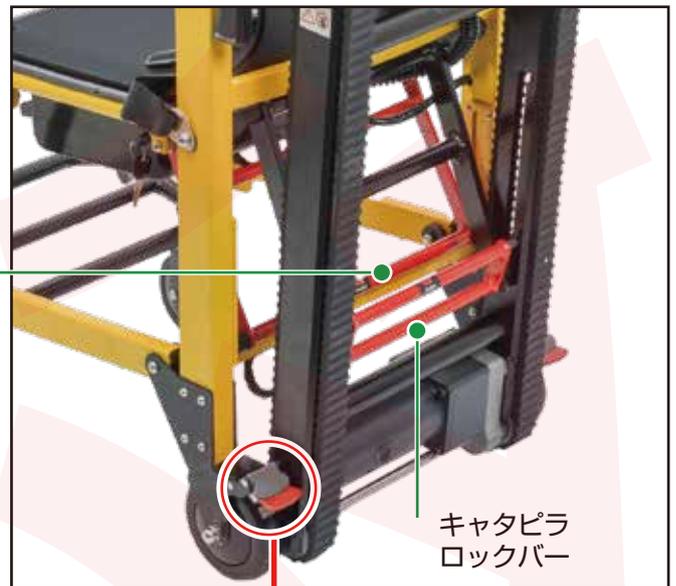


### ●タイヤロックについて

赤いペダルを踏むと、タイヤがロックされます。  
グレーのペダルを踏むと、タイヤロックが解除されます。



椅子  
ロックバー



## バッテリーを充電する

バッテリーを取り外して、充電器で充電をします。約6～7時間で満充電になります。



1  
バッテリーに接続された電源ケーブルがあります。  
リングロックを回して緩めて外します。



2  
バッテリーの側面に鍵穴があります。  
鍵をさして、押しながら矢印の方向へ回すと、ロックが外れます。



3  
バッテリーを引き抜きます。



4  
充電器に電源ケーブルを繋ぎ、電源プラグをコンセントに繋ぎ、バッテリーに充電プラグをつなぐと充電が開始されます。

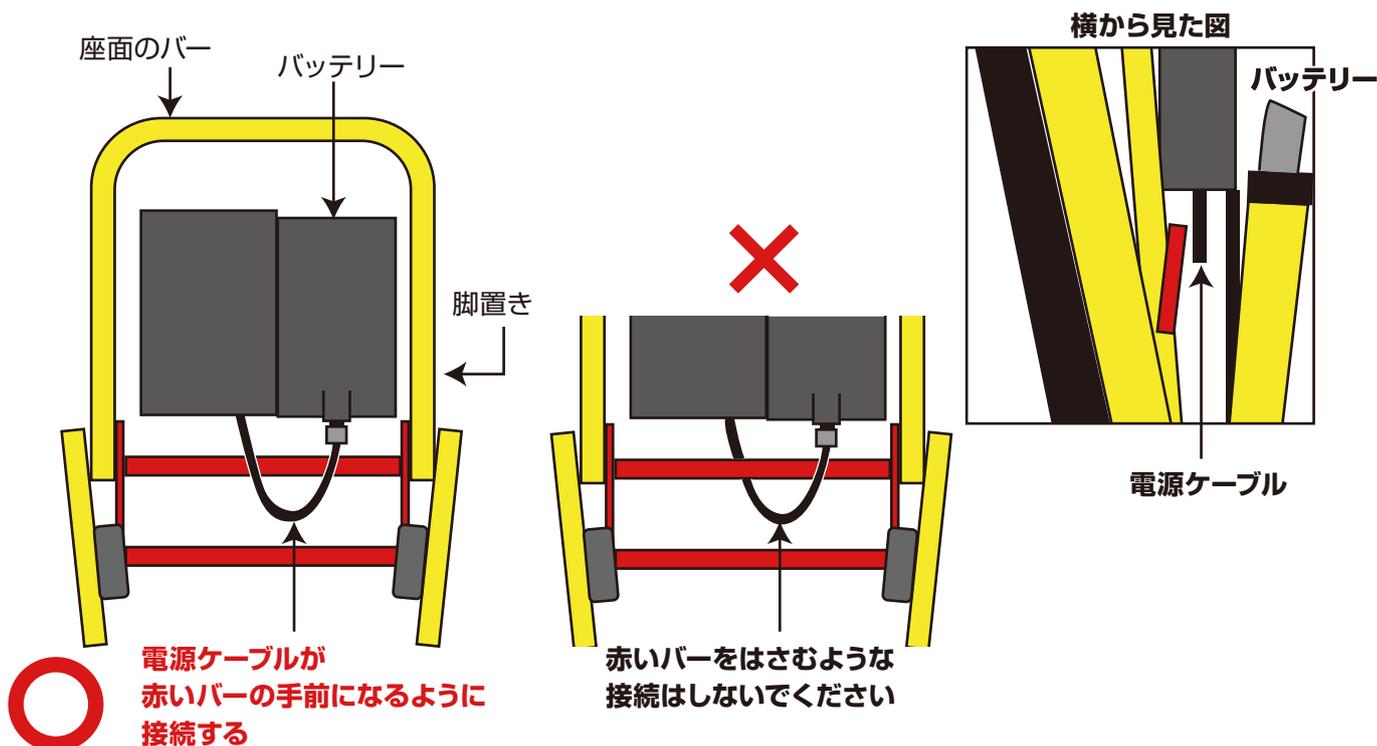
充電中はLEDランプ（④の緑点線丸部分）が赤に点灯します。  
満充電になると、アダプタのLEDランプが緑色に点灯します。

充電が完了したら、逆の手順を進めて、バッテリーをセットします。

鍵は中央の位置から45度の位置くらいに戻すとロックされます。そこから中央の位置に回すと電源が入ります。

### 【注意】バッテリー充電後の電源ケーブル接続について

バッテリーを充電したあと、電源ケーブルをバッテリーに接続します。  
その際、電源ケーブルをあやまった位置で取り付けると、使用する際に電源ケーブルが引っ張られて切れてしまう場合があります。下図のようになっているか、電源ケーブルの位置を確認して接続してください。



## 車椅子にする

### ① 椅子を出す

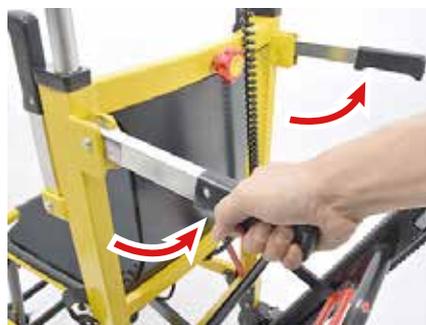


①前輪が地面につくまで、椅子の座面を下ろします。同時に足置きも下ろします。

②椅子の下にある赤いバーが、レールのくぼみに、しっかりと入って、ロックされていることを確認してください。この状態では電動ではなく、手動で動かすことができます。

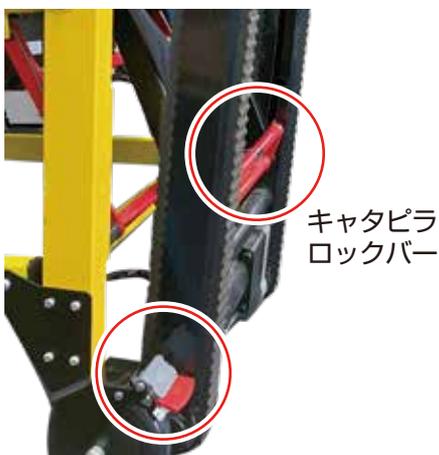
戻す時は赤いバーを前に押し込み、ハンドル部分を前に倒すように畳んでください。

### ② ハンドルを出す (手動で動かす場合)



椅子の後ろにあるハンドルを上を持ち上げてください。(ロックしません) 手動で手押し用としてのハンドルです。ハンドルポールと併用して好みでお使いください。

## ゴムキャタピラを出す



キャタピラ  
ロックバー



②キャタピラロックバー2本の内の上を前方に倒すと、ロックが外れゴムキャタピラ内側のレール上に入ります。



本体を持つ

③キャタピラロックバーを前方に倒したまま、上へ持ち上げます。同時にゴムキャタピラが後方へ傾きます。

①タイヤをロックします。



上でロックしてください。

ここに留めた状態で  
使用しないでください。  
走行中にロックが外れて  
キャタピラが倒れて  
大変危険です。



④一番上まで持ち上げると、赤いロックバーの上側がレールのくぼみに入り、ロックされます

戻す時は、逆の手順を行ってください。

## ハンドルポールを出す



伸縮ハンドルポールの長さを調節することができます。階段昇降時、持ちやすい位置に合わせて、長さを調節してください。

長さ調節ノブを OFF 側に回したままにするとロックが外れます。ON 側へ合わせるとロックされます。

ノブを OFF にしたままハンドルを上げるとハンドルポールが伸びていきます。ポールには穴があり、ノブを中央に戻してポールを引き上げていくと、穴の位置でロックされます。既にロックされた状態ですが念のため ON の方向へノブを回して固定してください。



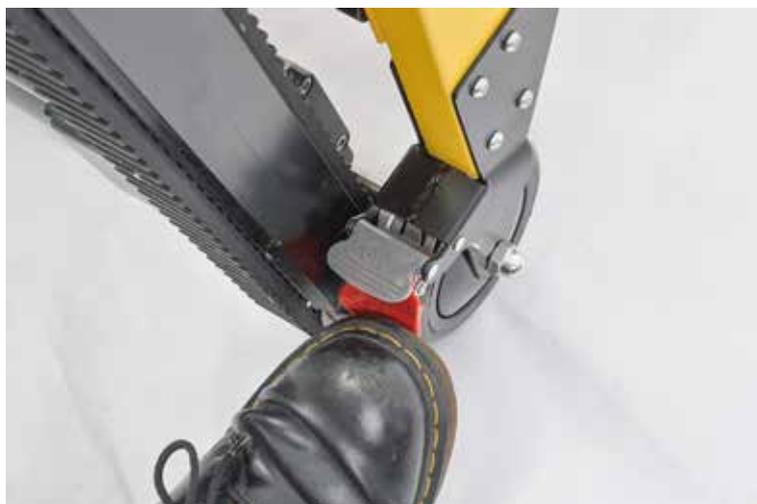
初期状態は、ポール部分が少し見えています。ハンドルのゴム部分まで押し込むことはできません。

## タイヤをロックする



人を乗せる際には、必ずタイヤをロックしてください。

赤いペダルを踏むと、タイヤがロックされます。グレーのペダルを踏むと、タイヤロックが解除されます。





- ・ 乗り降りの際には、必ず他の人が本製品を支えてください。
- ・ 坂道や滑りやすい場所、安定しない場所で乗り降りしないでください。



2



3



4



頭固定ベルト

- ①ハンドルアームを下ろします。
- ②椅子に座り、シートベルトを締めます。手は、ハンドルアームを握ってもらい、足は、足置きにおいてもらいます。腕、肘がキャタピラに当たっていないか必ず確認してください。
- ③必要に応じて、頭固定ベルトを上写真のようにポールにとりつけます。
- ④頭固定バンド（真ん中の長さ調節ができるバンド）で、座っている人の頭を固定します。



- ・ 降りるまでシートベルトは締めたままにしてください。
- ・ 強い前傾姿勢を取るとバランスを崩し、転倒するおそれがあります。

## 主電源を入れる



- ・ バッテリー側面にある鍵穴に鍵をさします。電源ケーブルを接続します。
- ・ 上図矢印の位置に回すと主電源が入ります。主電源が入ると電源ランプが点灯します。
- ・ 電池残量確認ボタンを押すことで残量が確認できます。

・ 本体の電源ケーブルと接続しなくても、主電源を入れて電池残量の確認はできます。

## コントローラーの操作方法



### ■電源ボタン

主電源が入った状態で、ON にすると2つの操作ボタン（昇る / 降りる）が使用できるようになります。OFF にすると使用できなくなります。

### ■昇る / 降りるボタン

ボタンを押し続けると動きます。ボタンを離すととまります。

## 補助ハンドルバー



赤いロック解除ボタンを押すと、補助ハンドルバーを伸ばすことができます。長さは、2段階で調節することができます。

## タイヤロック



乗っている人がしっかりと座っていることを確認してから、タイヤのロックを解除してください。グレーのペダルを踏むと、ロックが解除されます。



事故防止のため、階段の昇降の際は必ず2名で使用し、操作する人以外のもう1人の方は、補助ハンドルを持って下から支えるようにしてください。

使用環境等によっては、ゴム製キャタピラがグリップを失う場合があります。もう1人が補助していなければ、事故が発生するおそれがあります。

操作を熟知した上でご利用ください。



操作する人が2段ほど上がり、操作する人の高さに合わせてハンドルポールを伸ばします。  
上の写真のように足をかけ、階段にゴムキャタピラが設置するように傾けます。



ハンドルを押し付ける

電源を入れて、昇るボタンを押し続けます。



階段

キャタピラ

階段の角に常にキャタピラが接地しているように移動してください。

- ・ 階段途中で椅子を起こさないようにしてください。
- ・ ハンドルを階段側に押しつけるようにして、前方に倒れないようにしてください。



平地

階段

前輪

階段を昇り終わったら、台車を傾けたままで、前輪が平地に付く位置までキャタピラで移動しつづけます。

前輪が平地に付く位置になるまで、必ず後ろに傾けた状態のままで移動してください。絶対に前方に倒さないでください。



前輪が地面に付く位置まできたら、ゆっくりと地面につけます。  
電源ボタンを切ります。  
ハンドルポールを下ろします。

事故防止のため、階段の昇降の際は必ず2名で使用し、操作する人以外のもう1人の方は、補助ハンドルを持って下から支えるようにしてください。



使用環境等によっては、ゴム製キャタピラがグリップを失う場合があります。もう1人が補助していなければ、事故が発生するおそれがあります。

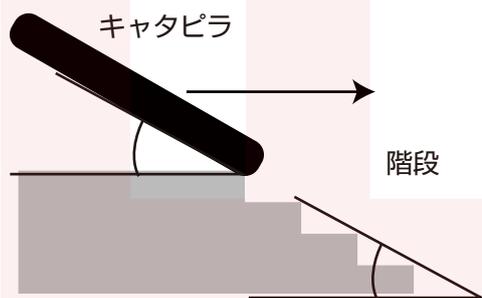
補助をする人は階段を後ろ向きに降りることになります。足元に注意してゆっくりと降りてください。操作する人が周囲に注意を払ってください。

足を踏み外すなど事故が発生するおそれがあります。



- ・ハンドルポールを伸ばします。
- ・キャタピラの先端が地面につくまで傾けます。
- ・電源を入れて、降りるボタンを押し続けます。
- ・傾けたままキャタピラで平地を移動します。

・前輪が浮いた状態になるので、前方に倒れないようにしてください。



- ・階段にゴムキャタピラ全体が接地するように、階段の角度に合わせます。



階段の角に常にキャタピラが接地しているように移動してください。

- ・後輪が平地に付いたら、ゆっくりと傾けて前輪をおろします。
- ・電源ボタンを切ります。
- ・ハンドルポールを下ろします。

### 【お問い合わせ・修理をご希望をされる場合】

<https://www.thanko.jp/view/page/support>

にアクセスして、サポートページよりご連絡ください。

下記 QR コードを読み取ると、アクセスすることができます。



### 不具合品のご送付先

ご連絡なく修理品を送付された場合、そのまま返送となります。必ず上記のページからお手続き後、ご送付ください。

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-3-1

EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問い合わせメールアドレス :support@thanko.jp

(自動返信にて上記 URL をご案内します)

## 仕様

サイズ	収納時:幅510×奥行1050×高さ290(mm) 使用時:幅510×奥行1075×高さ1050(mm)
重量	約32kg
座席サイズ	座板幅:395mm,奥行:465mm 背もたれ高さ:510mm
最大積載量	160kg
対応階段角度	30～35度
昇降速度	上昇時:8.6m(約28段)/分 下降時:9.0m(約29段)/分
モーター	24V 120W
バッテリー	リチウムイオンバッテリー24V 13Ah
充電時間	約6～7時間
連続使用時間	約80分(80kgの人を載せた場合)
充電器	入力:100-240V,50/60Hz 出力:29.4V 2.0A
セット内容	本体、鍵×2、頭固定ベルト、バッテリー、充電器、電源ケーブル、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より12ヶ月

## 販売元 THANKO

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 19  
秋葉原ビルディング 8F サンコー株式会社  
TEL:03-3526-4328 FAX:03-3526-4329

※不具合品のご送付先は別の住所となります。  
※本製品は国内専用です。